

## 公立大学法人大阪

### 大阪公立大学

#### (審査・評価委員の所見)

- ・貴学は、数年間をかけて都市型の政策シンクタンクへの変貌を志向しており、少しずつその成果が見え始めているので頑張ってもらいたい。
- ・EVをはじめとする様々な分野への応用が期待されている全固体電池の実用化研究会への参画企業が増加しており、世界的な開発競争で優位に立つことに期待したい。
- ・公立大学として自治体との連携が強固であり、企業版ふるさと納税を活用した産学官民共創ネットワークも始動し、行政課題の解決に向けた活動が展開されている点を評価したい。
- ・外部資金の獲得額が順調に増加している点が期待できる。
- ・J-PEAKS との資金活用のすみわけが明確化できており良い。
- ・着実に産学連携を拡大し、地域とも連携が取れている。特に企業版ふるさと納税の活用は他大学にも参考になる。また博士学生の社会活躍も期待できる。
- ・当初計画は順調に進捗中。資金計画に大きな懸念はない。社会実装化、イノベーションの進捗も順調。地場企業への貢献、連携には一段の注力が必要。J-PEAKS 卓越校との連携にも注力して欲しい。

## 国立大学法人長崎大学

### 長崎大学

#### (審査・評価委員の所見)

- 大学戦略室、共創パートナーの構築、自治体との関係づくりなどこの事業の目的は順調に達成している。貴学については旧六医科大学の一つであり、特徴ある医学研究の研究環境の再構築を進めてほしい。
- 海洋産業クラスターから COI-NEXT 本格的 BLUE エコノミー、プラネタリーヘルスと徐々に特色を強化しており、地域の中核としての機能を強化している。イノベーションハブとなる運営側の人材がポイントである。
- 総合海洋研究シーズを活用して、環境対策、水産業・創薬振興などの地域課題を解決するための研究開発を推進している点を評価したい。
- 外部資金に関しては、案件数は増加しているものの、獲得額についてはまだ十分ではないので、今後の伸びに期待したい。
- 総合海洋研究分野及び先端創薬領域分野等の研究開発として、海洋ロボット、水産養殖用飼料、創薬基盤等に予算を使用しており、当初の狙いに向けて進めている。まだ外部獲得予算などで実績が挙がっているわけではないが、予定通り進めてほしい。
- 計画の進捗が遅い。より迅速で着実な実行の為に経営陣の強いリーダーシップを期待している。

## 兵庫県公立大学法人

### 兵庫県立大学

#### (審査・評価委員の所見)

- ・はりま新産業創出エコシステムを構築する事業として、県との密接な連携をさらに高めて、社会実装のモデルとなってほしい。
- ・播州地域の拠点としての活動を促進するための活動が進められており評価できる。また、ニュースバルのEUV露光などは今後の半導体戦略で極めて需要。加えて、水素の取り組みも関西の拠点として期待でき、経済安全保障含めて重要な取り組みをますます推進していただきたい。
- ・県内企業との連携が不十分である。「はりま新産業創出エコシステム」を通じて地域企業との連携を強化し、成長期待分野の研究シーズを活用して競争力のある産業集積の構築に貢献することを期待する。
- ・外部資金に関しては、案件数は増加しているものの、獲得額については十分ではないため、今後の伸びに期待する。
- ・水素エネルギー共同研究センター、先端医療工学研究所、放射光などに活用、産学連携本部と地域創造機構の統合などを行い、当初計画通り進めている。県立大の最先端研究施設の活用により、地域貢献を図る点は理解するが、どのように社会実装へ貢献できるかを明らかにしていただきたい。
- ・当初計画に沿った進捗状況。人材力は着実に向上している。地域貢献分野での出遅れを取り返す為の一層の努力に期待したい。

## 国立大学法人九州工業大学

### 九州工業大学

#### (審査・評価委員の所見)

- ・「極限環境（水中・宇宙）における自立運転可能な AI ロボット」の開発は極めて興味深い事例で、地域との連携もこの事業によって深化している。
- ・宇宙産業や AI 半導体領域の特色ある研究を進め、地域の産業創生に貢献している。また、特区活用した規制緩和にも大学が貢献しており非常に評価できる。資金活用計画も明確である。
- ・「次世代パワーエレクトロニクス」「AI ハードウェア」「宇宙利用実証」は我が国の産業競争力を高めるうえで不可欠な技術である。これらの技術を活用し、地域の有力企業との共同研究を推進することにより、地域活性化が期待できる。
- ・地域自治体と連携した社会連携講座や共用機器利用などの産学官連携体制が構築されている点を評価したい。
- ・先端半導体技術開発のニーズを受けて、北九州市が管理する半導体デバイス開発用クリーンルームにレーザービーム描画装置を導入するといった大学と北九州市の共創型での設備導入、運営は注目できる。さらに北九州市が力を入れる超小型人工衛星開発拠点を進めており、自治体との連携は良い見本である。その割に外部資金獲得額が伸びていない点は気になる。
- ・次世代半導体開発拠点構想の実現は喫緊の課題。また、北九州市と協力して進める超小型人工衛星開発拠点も重要なプロジェクト。資金活用については「地域中核・特色ある研究大学の連携による産学官連携・協同研究の施設整備事業」との相乗効果の実現を含めて更なる活性化に努めて欲しい。

## 国立大学法人山形大学

### 山形大学

#### (審査・評価委員の所見)

- ・貴学は、有機 EL 研究で先鞭をつけた工学研究を皮切りに、医学も含めた産官学の連携に発展しつつあると評価している。
- ・取り組みは順調に進んでいるものの、計画がありきたりの内容になってきており、少々特色を強化していただきたい。より大学で内製化できるための改革を進めていただきたい。
- ・卓越性を有する有機材料システムの研究シーズを活用し、成長期待分野への社会実装を目指した推進体制が構築されている点を評価したい。
- ・地域の自治体や産業支援機関との連携が強化されている。その体制を活用した県内産業の技術高度化に向けたプロジェクトの創出に期待したい。
- ・元々知財含め産学連携体制がしっかりしている上、外部予算獲得も伸びている。ただ本事業により、どの分野を強化しようとしているのかが調書ではわかりにくい。また共同研究はそれほど伸びていない。これらの課題は今後明らかにしていただきたい。
- ・地方産業への貢献、地方企業との協業、地域の社会課題解決に資するイノベーション促進は着実に進捗しつつあると思慮。外部資金獲得状況も順調で資金計画の進捗に懸念はない。

## 国立大学法人香川大学

### 香川大学

#### (審査・評価委員の所見)

- ・貴学の希少糖研究は、その独自の社会価値創造にも関わらず研究支援での認知度が低いかもしれない。より大きなフレームワークで研究支援を受ける価値ある活動だと認識しており、この事業がその一助になったのであれば嬉しく思う。
- ・貴学が長年特徴としてきた希少糖の領域において本事業で一気に加速して事業化する取り組みは評価できる。本件、何よりも事業化が重要である為そのための支援体制を十分に整えていただきたい。
- ・卓越性を有する希少糖の社会実装は、グローバルなマーケットを形成しつつあり、知的財産権も取得するなど我が国産業の高度化に貢献している点を評価したい。
- ・地域産業との連携では、研究支援体制を整備し、多彩な産業分野の地域企業 20 社との研究開発を推進しており、地域活性化に寄与することが期待できる。
- ・希少糖の食品産業分野以外への用途開発が進められ、地元自治体・企業と連携した事業化研究も行われている点を評価したい。
- ・希少糖を核とした産学連携・社会実装を着実に進めている。異なる産業分野（例えば、食品分野、農業分野、医療分野、環境分野等）での社会実装に向けて改革するとあるが、この点についてはもう少し具体的な策を明確にしていきたい。
- ・希少糖に関わる研究開発及び社会実装化については、着実に進捗している。（その適応可能範囲は食糧産業のみならず、飼料、新規治療法や構造物用マテリアルなど拡大している）

## 国立大学法人鹿児島大学

### 鹿児島大学

#### (審査・評価委員の所見)

- ・九州地区は今、半導体の波が押し寄せているが、本来、南九州は畜産業という重要な産業があり、今回の「南九州畜産獣医学拠点」の進展は今後の貴学にとって重要な取り組みになると期待している。
- ・南九州の畜産獣医学拠点として特色のある取り組みが進められてきている。イノベーションセンター強化についても、全国様々乱立しており、ここでしかできない機能を付加していただきたい。
- ・南九州地域の主要産業である畜産業の支援体制が整備されつつあるが、地域企業による事業化の状況が示されていないため、産業活性化への寄与度が不明確。
- ・サーキュラーパーク九州に関する事業は、九州電力が推進する事業で、外部資金の獲得が期待される。この事業を推進する中で、地元企業が多数参画できる仕組みが構築され、事業化に向けた共同研究が促進されると、地域活性化につながると思う。
- ・「南九州畜産獣医学拠点」と「サーキュラーパーク九州構想」が大きな柱。実績も着実に伸びている。ただ、「イノベーションセンター」が具体的にどこを強化しようとしているのかが調書ではわからなかった。今後明確にしていきたい。
- ・「南九州畜産獣医学拠点」の進捗は順調。地場企業との連携も順調であり、地域課題解決をベースとした地域貢献への展開も相応。

## 国立大学法人千葉大学 千葉大学

### (審査・評価委員の所見)

- ・貴学は地域大学という枠組みを超えて、グローバルな研究でもより高みを旨とする必要がある。J-PEAKS に採択されたことがきっかけとなるのではないかと考えている。
- ・健康ビッグデータについては様々な取り組みが各地で進められている為、先行研究を参照されたい。
- ・リサーチパーク及びサテライトキャンパス周辺の自治体との連携が構築され、地域貢献に資する活動が展開されているが、それ以外の自治体の地域課題を解決する取り組みも望まれる。
- ・リサーチパークに誘致した企業との共同研究による外部資金の獲得増加に期待したい。
- ・JST/OPERA「ゼロ次予防戦略による Well Active Community」の概念を利用した地域や企業との連携を拡大しようとしている。Well-being・健康関連ビッグデータの整備は期待したいが、OPERA 当時から指摘されている通り、国も含めた様々なデータとの統合が課題ではないか。また受託研究、共同研究共に拡大しているとあるのに、外部資金獲得が減少している理由が気になる。
- ・地方経済・地方企業との連携は進展しつつある。Well-being・健康関連ビッグデータの整備・利活用 に期待しているが、更なる成果に期待したい。J-PEAKS と本事業の関係についての記述は首肯される。

## 国立大学法人長岡技術科学大学

### 長岡技術科学大学

#### (審査・評価委員の所見)

- ・貴学は、バイオという伝統産業のみならず、メタバース研究でも実直な成果を上げつつあり、それらの活動をこの事業で支援できたことは嬉しく思う。
- ・審査評価委員の所見に対し、真摯に対応され取り組まれていることを評価する。引き続き高専連携や総合知を活用し地域の中核としての役割を果たしていただきたい。
- ・地域自治体と連携して設置されたサテライトキャンパスによる社会実装支援は、地域密着型の支援体制として効果が期待できる。
- ・外部資金の獲得も順調に増加している。
- ・「本事業終了までの計画とその効果」の記述の中では、地域課題が明確ではない。卓越した3分野の保有シーズを活用して、具体的なプロジェクトが創出されることを期待したい。
- ・「長岡技大モデル」地域全体を丸ごとプロデュースするコンセプトに基づく地方創生を否定するものではないが、概念先行のきらいがある。強みである、バイオ、ものづくり、エネルギーの3分野で具体的な地域振興を図る必要があるのではないか。今後具体的な計画を明確にしていきたい。
- ・高専、自治体との連携、地域振興と人材育成及び大学発スタートアップへの取り組みは順調に推移。REVICとの協働、ファンド運営組織への取り組みに有為な進展は見られていないので、一層の活性化を希望する。J-PEAKSとの相乗効果発現の具体化は今後の課題。

## 学校法人立命館

### 立命館大学

#### (審査・評価委員の所見)

- ・貴学は、国立・公立・私立という枠を超えた新たな大学経営を模索しており、大変期待している。個人的には、新しい教育モデルの提示まで進めることができれば大きなムーブメントにつながるのではないかと考えている。
- ・小学校からのプラットフォームを活用した起業家人材育成はユニークであり、初等教育からのアントレ教育には期待できる。また関西において早く半導体領域に対してのチャレンジを進めており引き続き期待する。
- ・自治体の産業誘致戦略を基にした研究テーマを推進している。産業誘致は自治体の産業政策の柱のひとつであり、「琵琶湖半導体構想」が産業誘致に寄与することに期待したい。
- ・外部資金の獲得も順調に増加している。
- ・「本事業終了までの計画とその効果」の記述の中では、解決する地域課題が具体的ではないが、自治体との連携を密にして、効果的な課題解決に努めてほしい。
- ・一貫型人材育成により多様な人材を育てるというコンセプトは良いと思う。「琵琶湖半導体構想」、「日本バイオ炭コンソーシアム」、「宇宙地球探査研究センター(ESEC)との研究連携」および「グラスルーツ・イノベーションセンター(GIC)でのスタートアップ創出（経産省）」などが具体的に進んでおり、期待する。
- ・地域経済への貢献については、外部資金獲得実績を踏まえると、一定の進捗が認められる。資金計画に特段問題は認められない。「地域中核・特色ある研究大学の連携による産学官連携・共同研究の施設整備事業」による本事業推進との関係は今後ウオッチしたい。